

(1997年度～2007年度)



<http://www.hisatune.net>

プロフィール



1950年大分県生まれ。九州大学法学部卒業。1973年日本航空株式会社入社、ロンドン空港支店、客室本部労務担当等を経て、本社広報課長、サービス委員会事務局次長を歴任。ビジネスマン時代から「知的生産の技術」研究会（現在はNPO）に所属し著作活動も展開。

日本航空を早期退職し、1997年4月新設の宮城大学教授に就任。学生と共に成長する教育者、地域と共に歩む研究者、県立大学教授としての地域貢献という3つのテーマで活動している。著作や雑誌への寄稿や講演など全国区で活動する一方、宮城県では多数の審議会・委員会の委員、NPO法人知的生産の技術研究会理事長をつとめるなど地域活性化にも力を注いでいる。2004年度より中国・吉林大学客員教授を兼務。

【関心分野】

ビジネスコミュニケーション、キャリアデザイン、サービスマネジメント、図解コミュニケーション、自己表現、知的生産の技術

【行政等の委員会活動】

国土交通省「水・道路・都市の環境政策と合意形成に関する研究会」副座長、産業人材研究会（経済産業省）、宮城県行政改革推進委員会委員、宮城県民サービス向上委員会委員長、宮城県行政改革進行管理委員会委員、宮城県大規模事業評価委員会委員、宮城県長期総合計画審議会専門委員、宮城県バリアフリー国体アドバイザー、気仙沼市行政改革懇話会副会長、高清水町21世紀まちづくり委員会委員長、古川市農業・農村対策審議会会長、大和町行財政評価システム導入検討委員会委員長、大崎市行政改革推進委員会会長

【主な講演会、セミナーなどの講師】

（行政）最高裁判所、東京高等裁判所、仙台高等裁判所、宇都宮地裁、人事院、防衛庁技術研究本部、文部科学省高等教育局、国土交通省東北地方整備局、東北財務局、秋田県庁、山形県庁、宮城県庁、三重県庁、高知県庁、全国市町村職員中央研修所、神奈川県市町村職員研修所、東北自治研修所、ふくしま自治研修センター、中小企業大学校、宮城県庁、宮城県市町村職員研修所、東北郵政局職員研修所、宮城県仙南保健所、新世紀・みやぎ国体県民運動協議会、仙台市役所、松島町役場、松山町役場、本吉町役場、丸森町役場、石巻市まちづくり市民会議

（企業など）トヨタ自動車、日産自動車、キヤノン、富士ゼロックス、リクルート、朝日新聞社、JR東日本、マイクロソフト、松下電器、コマツ、三菱商事、慶應丸の内シティキャンパス、日経ビジネススクール、日本総合研究所、日本経済新聞社、企業法務研究会、エーザイ、第一製薬、山之内製薬、安田火災海上、仙台経済同友会、東北電力、七十七銀行、河北新報、鋼材倶楽部、丸善、21世紀プラザ研究センター、大分経済同友会、日本遊技産業同友会、佐賀県商工会連合会

（教育）東北大学医学部、東北大学大学院工学研究科、筑波大学教育センター、奈良県教育センター、岡山県教育センター、群馬県教育センター、山梨県教育委員会、仙台市教育センター、花巻市校長会、宮城県仙台向山高校、富谷高校、仙台白百合学園高校、八乙女小学校、矢本西小学校

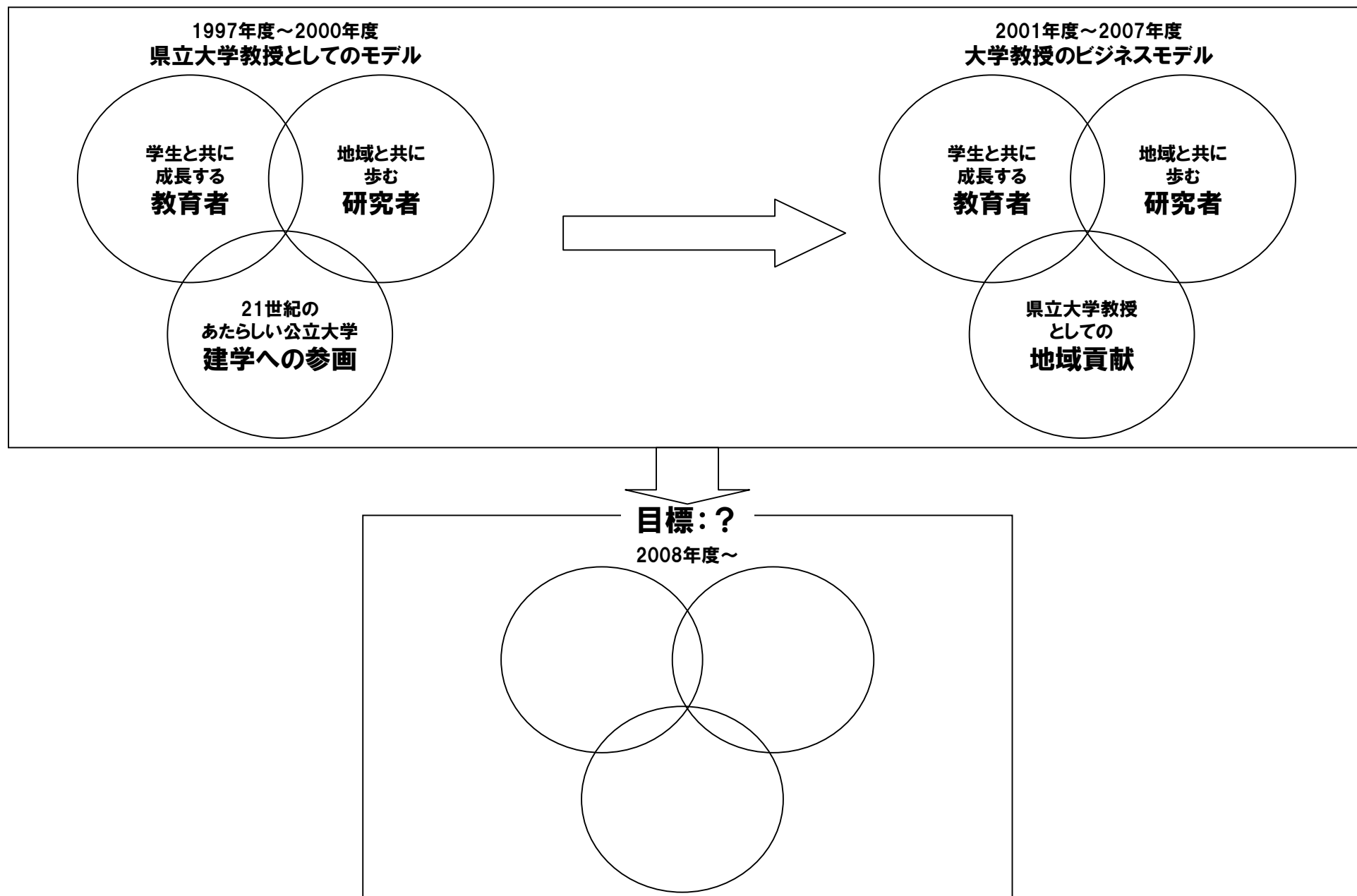
【主な寄稿雑誌】

ビジネスデータ（ファシリテーションの技術）、日経ビジネス、プレジデント、週刊エコノミスト、日経ベンチャー、ビッグ・トゥモロー、The21、R25、月刊Voice

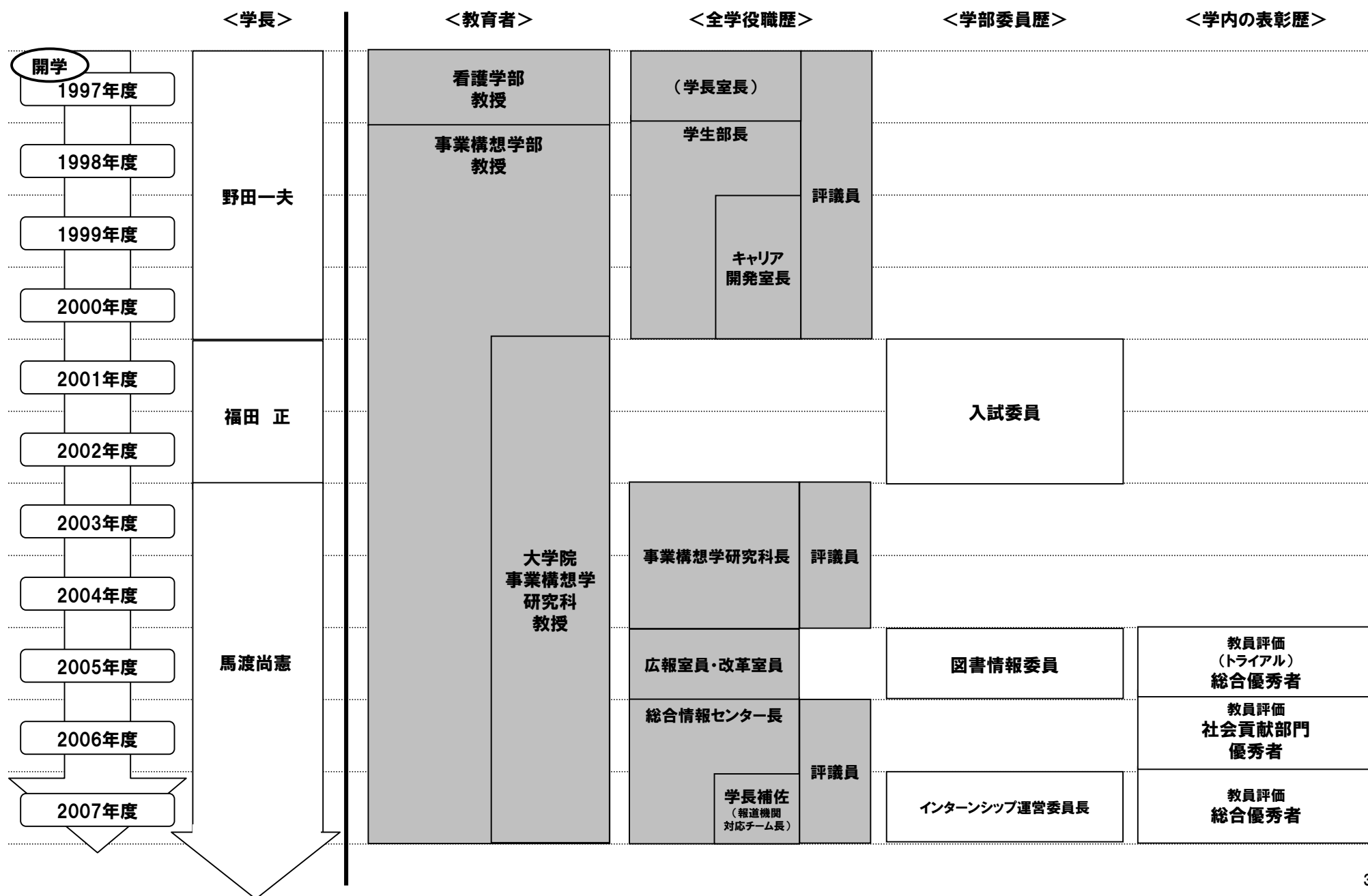
【著書】

「図で考える人は仕事ができる」（日本経済新聞社）、「図で考える人は仕事ができる 実践編」（日本経済新聞社）、「合意術 「深掘り型」問題解決のすすめ」（日本経済新聞社）、「図で考えれば文章がうまくなる」（PHP研究所）、「通勤電車で寝てはいけない！」（三笠書房）、「できる人になるには勉強してはいけない！」（青春出版社）、「図で読み解く！ドラッカー理論」（かんき出版）、「見晴らしを良くすれば仕事は絶対にうまくいく！」（実業之日本社）、「人生がうまくいく人は図で考える」（三笠書房）、「40歳からのライフデザイン」（講談社）、「仕事力を高める方法は「図」がすべて教えてくれる！」（PHP研究所）、「仕事と人生で成功する人の図で考える習慣」（幻冬舎）、「図解 世界の名著がわかる本」（三笠書房）、「図解 今の日本がひと目でわかる！」（三笠書房）

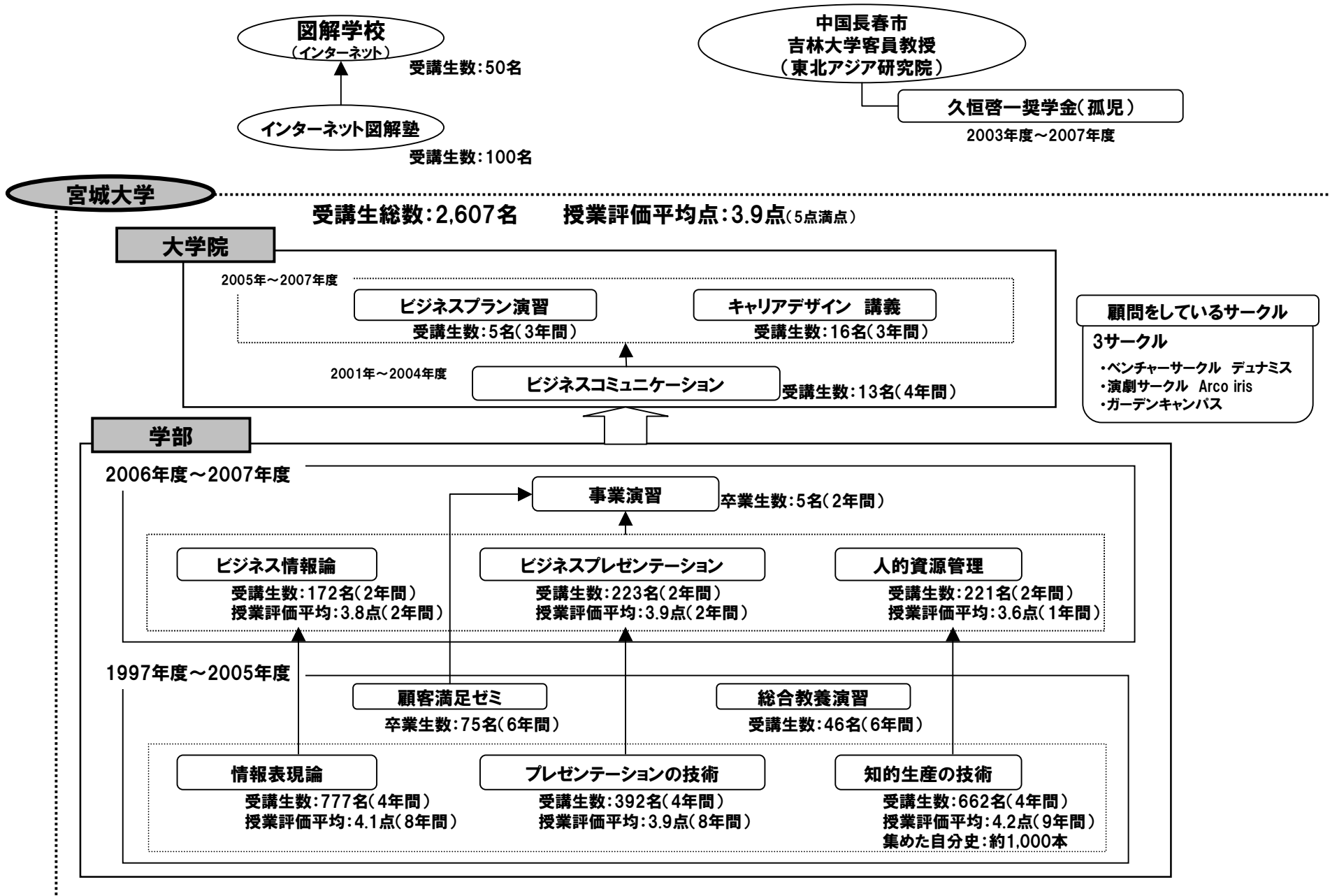
中期目標



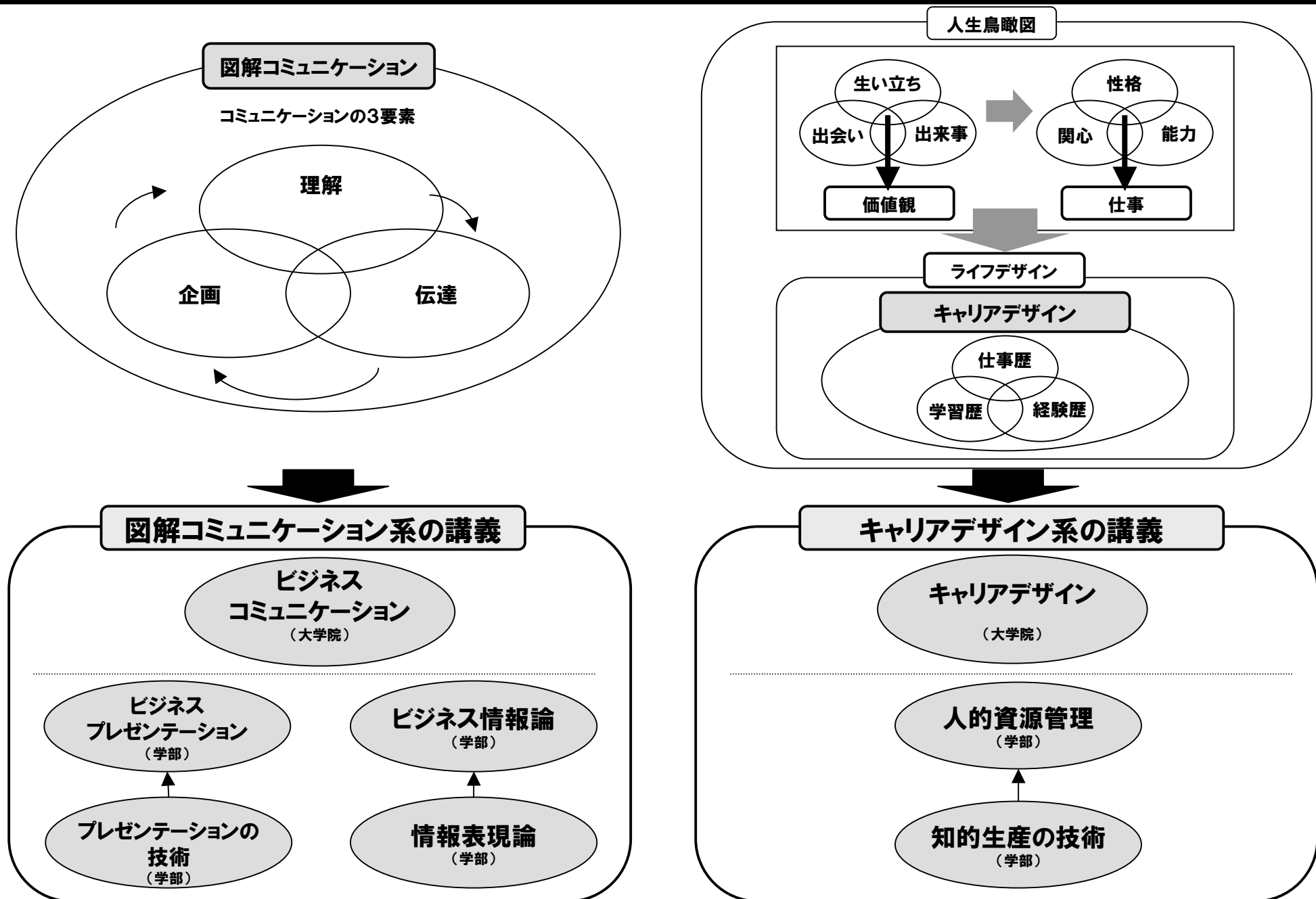
建学への参画



学生と共に成長する教育者①－講義とゼミ



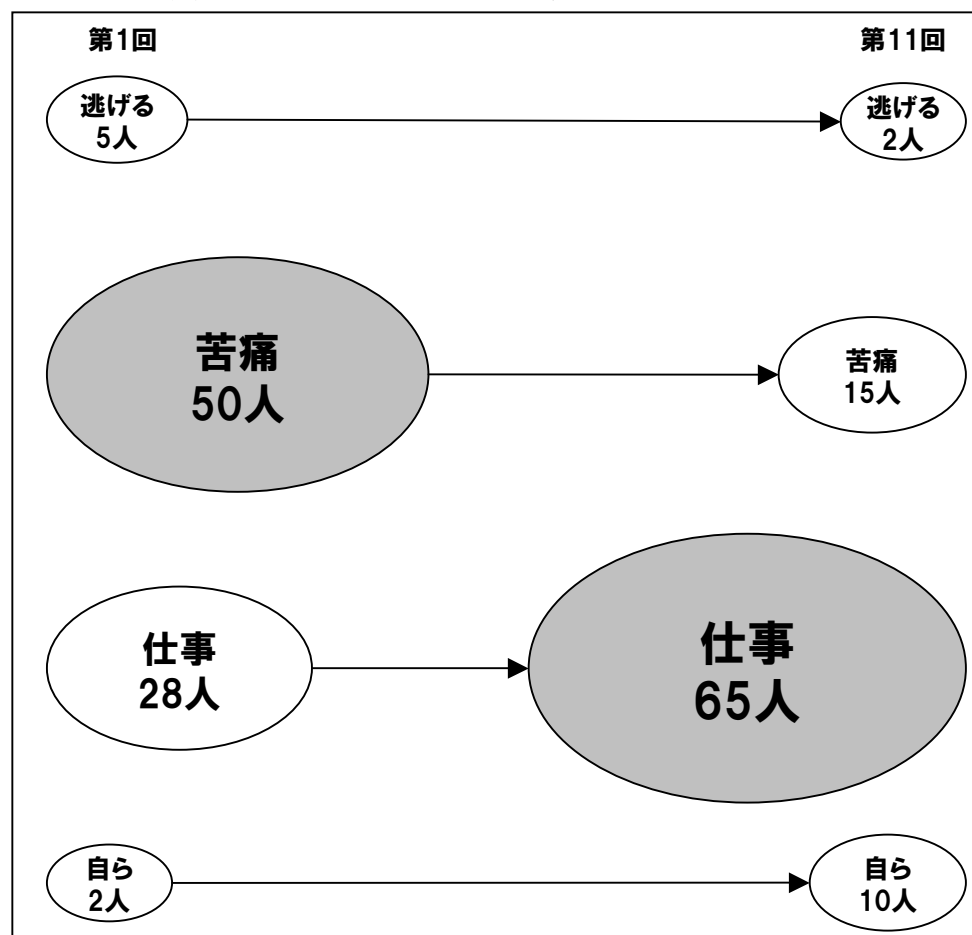
学生と共に成長する教育者②ー講義とその背景の考え方



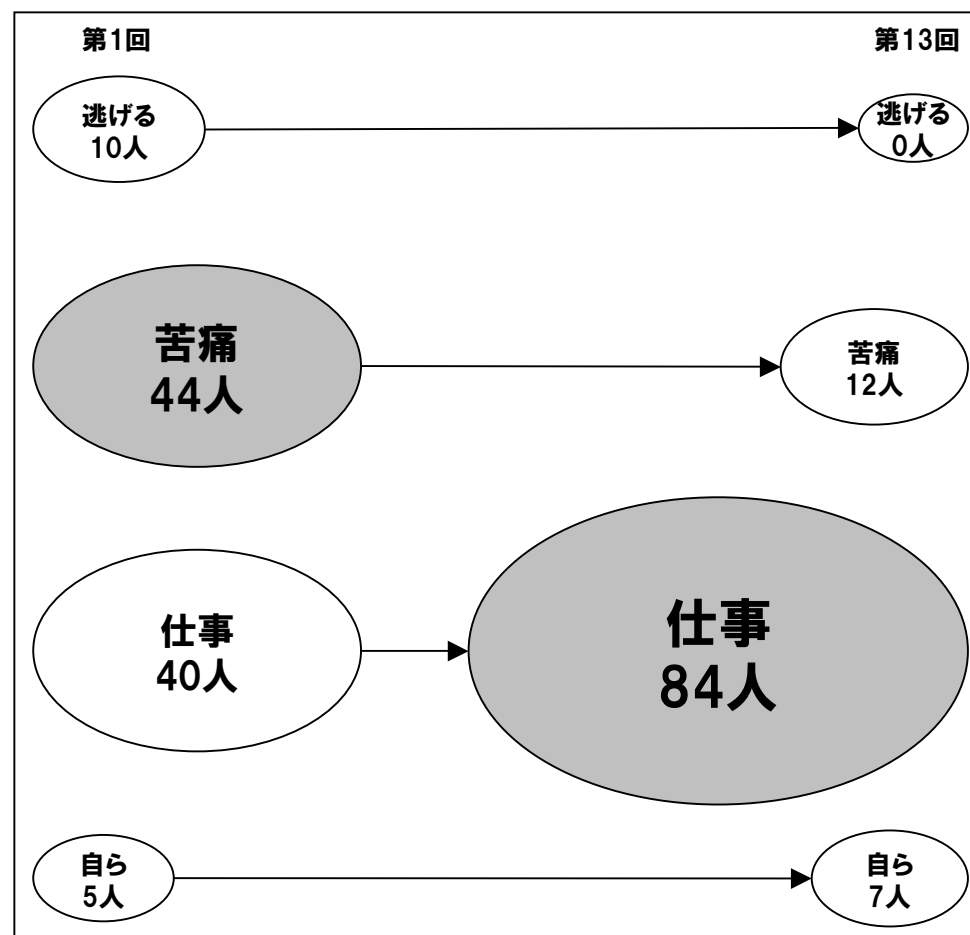
学生と共に成長する教育者③ープレゼンタイプに変化はあったか

プレゼンテーションの技術、ビジネスプレゼンテーションの講義では、プレゼンテーションをするときに「逃げるタイプ」、「苦痛タイプ」、「仕事ならするタイプ」、「自らするタイプ」どのタイプに属するかアンケートを収集。

2005年度 プレゼンテーションの技術



2007年度 ビジネスプレゼンテーション



「逃げる」「苦痛」タイプの減少かつ「仕事」「自ら」タイプの増加

講義を通して、受講生が確実にプレゼンテーションへの自信を付けている

学生と共に成長する教育者④－自分史を書き終えての感想

知的生産の技術で収集した自分史

約1,000本(9年間)

私の今までの人生に、母は大きな影響を与えてきました。私は、母のことはもちろん尊敬しているし、こんなに最高の母は世界中何処を探してもいないと思っています。

これから30歳、40歳になっても自分史を書くことを続けたい。

大学に入ってからこのこと、自分のこれから生き方をじっくり考える機会をあたえてくれました。

私は普段から「型にはまりすぎない」ということをなるべく頭において行動している。しかし、この自分史を書き終えて、やはり自分は内にこもりやすいタイプなのだということがはっきり分かった。

自分のことは自分が一番わかっている

自分について書き切れていない

私は私であって、誰でもない、と言う事が分かったような気がします。

こんなに早く自分を振り返る機会がくるとは思っていなかったけれども、20歳という区切りに自分を再確認できてよかったと思う。

自分を認める勇気と潔さが必要である

自分史を未来につなげたい

自分の未熟さを感じさせられた

性格タイプ別の講義がためになった

思い出を敢えて言葉に書いて形にすることで隠れていた想いを見つめることができた。

家族の影響というものの大きさと、そのほかの人々との出会いの不思議さ、面白さ、大切さを実感することができました。

自分史を書いて、友達の大切さというものを痛切に感じました。

将来のために、今自分が行うべきことが明らかになった

また別のテーマで自分史を書き違った角度で自分の人生を見たい

自分の人生において「出会い」という財産を実感できた

始めて自分史というものを書いた。最初は本当に何を書けばよいのかわからなかった。しかし、自分が当時考えていたこと、また自分が当時行っていたことを思い出したりしているうちに、どんどん頭の中で大骨とも言える部分は出来上がっていったように感じる。

自分史を書いたことが大きな財産だ

これは自分でも大切に保管しておきたい。

自分の成長と共に、過去の自分に対する新しい視点が開ける

これから将来に向かって、すばらしい自分史を書けるような人生を送りたい

自分の人生テーマは「デザインとか美的なものを追求すること」だと再確認できたのも良かったです。自分に少し自信を持てるようになりました。

将来、悔いの残らないように大切に生きたい

自分史を書いて、将来が不安になった

人生テーマだが、自分史を書いてみて、「動物」「植物」「コンピュータ」「簿記」「地球環境」「ものづくり」という単語が心の中に出てきた。これらの中で、全てとは言わないが、できるだけ多くのことをやって行けたら良いと思う。何年後かに、この自分史を読んでみてどう思うかが楽しみだ。

自分の将来がはっきり見えてきた

これから人生のテーマを見出していきたい

過去を振り返るには人それぞれ違う時期がある

人生のテーマを見出すことができたので、テーマを意識して生きていきたい

今後の人生のテーマを考えると「楽しく・自分らしく・自分のペースで」というような感じになりました。これからはこのテーマを意識しながら人生のハードルを越えていきたいと考えています。

私は看護を一生の仕事にできるのかもしれない、とも思え、自分のテーマ、それを見つけたことがこの自分史をやった最大の収穫であり、大学生活最大の収穫かもしれない、とおもった。

自分を認めることが必要だと感じた

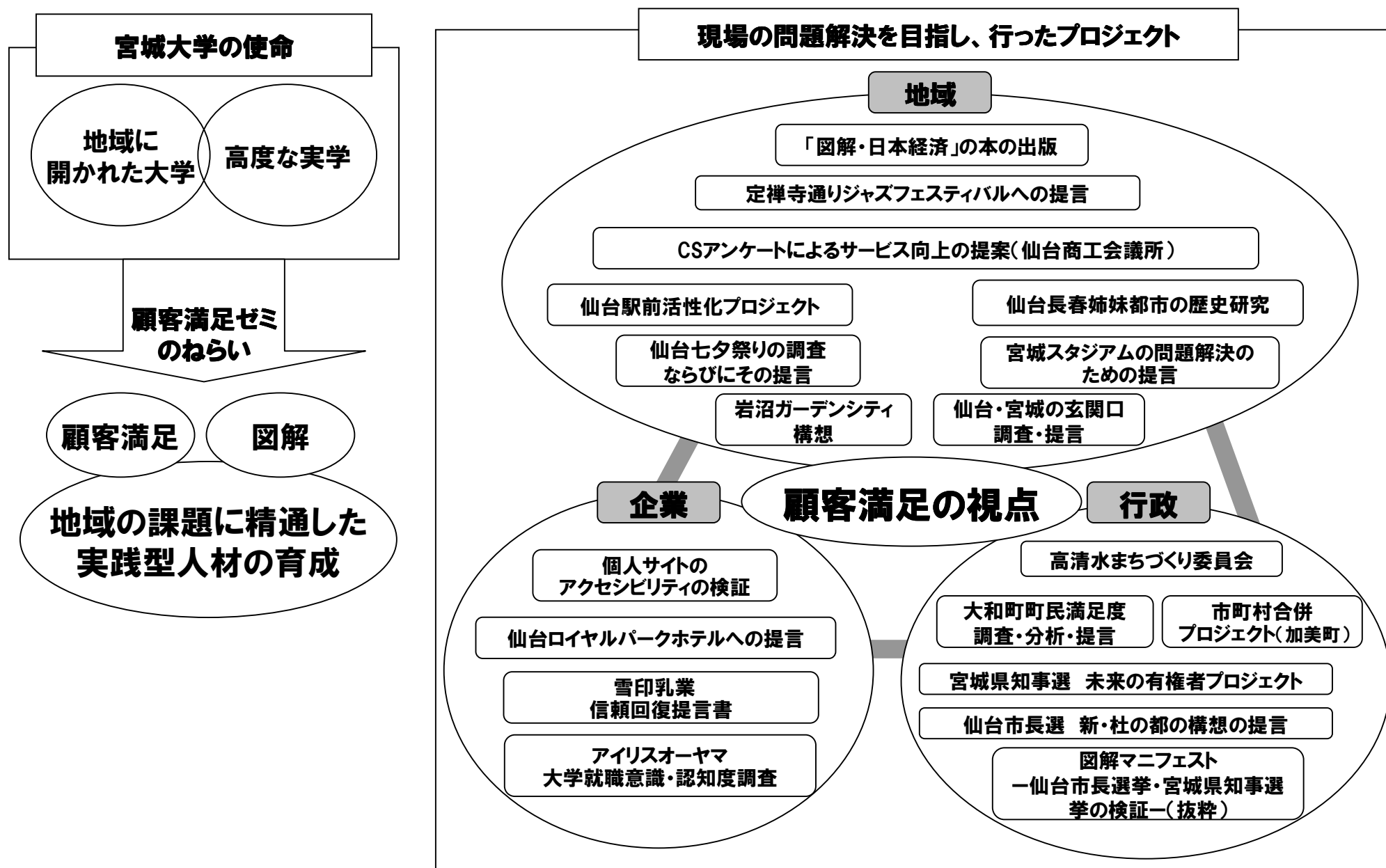
手を加え、改善し、また、写真なども取り入れて、今後も書いていきたいと思う。

これまでの私の人生のテーマはまさに「一期一会」であったような気がする。

自分史に意味を見いだせず、悔しい

インドネシアに帰ってきた兄みたいに、そして私の生きる道を守りながら、インドネシアに帰国したら、日本とインドネシアのかけ橋になりたいと思う。

学生と共に成長する教育者⑤－顧客満足ゼミ



学生と共に成長する教育者⑥ー顧客満足ゼミ 卒論テーマ・大学院修士論文テーマ(1)

ゼミ 卒業生 80名(サブゼミ含む 8年間)

卒業論文テーマ 57テーマ

2000年度

- ・住宅産業における顧客満足を生むマーケティングと戦略
- ・IT時代の顧客指向型企業戦略 ～CRMとCREの実現～
- ・CS実現の条件
- ・電力産業における規制緩和と競争政策の導入について
- ・音楽ビジネス転換期における生活の中の音楽とこれからの存在方法
- ・シンガポール航空のサービス戦略

2001年度

- ・危機管理による企業イメージ構築
- ・顧客満足の視点から見た学校教育 -顧客満足教育を目指す-
- ・住宅産業におけるCS実現のための今後のアフターサービスの在り方
- ・雪印食中毒事件から考えるブランド戦略の在り方
- ・雪印・食中毒事件に学ぶ今後の食品産業の在り方
- ・顧客を喜ばせる営業、提案営業を考える
- ・「行政の顧客満足」と「地域のマーケティング」
-宮城県岩沼市・宮城県大和町を事例として-
- ・日本の学校教育における自己表現の現状とその展望
- ・栃木産いちご販売促進に関するブランド戦略
- ・ビジネスコミュニケーション
- ・顧客満足の視点から見る県民ニーズ

2002年度

- ・実力主義時代における個人の孤立したキャリア形成と
それに伴う組織の新たなヒューマンリソースマネジメントの導入について
- ・生涯学習社会における宮城県図書館の役割
- ・ファーストフードにおける顧客ニーズの重要性
- ・コミュニケーションコンサルティングの手法 -住宅関連企業A社を事例として-
- ・Plan構想を生み出す行政評価(住民満足度調査)を目指して
-大和町を事例とした住民のシンボルとなるイベント構想-
- ・住宅業界における若年層をターゲットとした潜在顧客の獲得とCSについて
- ・地域活性化におけるイベントの有効性
- ・CS経営戦略の理論と実際 -ルイ・ヴィトンジャパンを事例として-
- ・企業利益を高めるCSの理解と実践
- ・地域活性化とイベント事業 -イベント事業が地域活性化に果たす役割-
- ・CS的なアンケートの構築とその測定
-顧客モデルを使用したアンケート製作法の開発-
- ・商店街の生き残り策
- ・現状から見る歯科医療
- ・情報リテラシー支援事業における事業のあり方～新規事業提案とその実践～

2003年度

- ・ITとマニフェストが政治にもたらす効果
- ・ファミリーレストランの目指すべき方向 -顧客満足を得る為に-
- ・コンビニエンスストアとEコマース事業
- ・ウェブコミュニケーションの可能性
-他のコミュニケーション手段との比較と問題点の解決可能性-
- ・コンビニ業界の展望 -セブンイレブン・ジャパンを事例として-
- ・顧客満足調査手法のモデル構築 -ショッピングセンターA社を事例として-
- ・泉パークタウンにおける地域密着型サービスの提供事例と、住民自治の展望
- ・顧客満足手法のモデル化
- ・企業の広告活動における広告効果測定的重要性について

学生と共に成長する教育者⑦ー顧客満足ゼミ 卒論テーマ・大学院修士論文テーマ (2)

2004年度

- ・企業と生活者の関係再構築におけるネットコミュニティ活用の有効性
- ・低投票率についての検証と提案
- ・卸売市場の諸問題と果たすべき役割
- ・市町村合併を利用した地域ブランド構築の可能性～加美町を事例として～
- ・インターネットショッピング～イオンマーケットを事例として～
- ・今後SEに求められる能力と図解の有用性
- ・市町村合併の調査・提言
- ・市町村合併のあるべき姿とは
- ・コカコーラ・グループのブランド戦略を考える
- ・新しい商都仙台を考えるー消費から生活へー

2005年度

- ・出版問題の今後の展望について
- ・裁判員制度裁判ー円滑化への提言ー
- ・韓非子の「利」について
- ・日本の入浴産業における顧客満足

2006年度

- ・宮城の教育NPO法人に関する課題と提案
- ・仙台市長梅原克彦氏のマニフェスト進捗状況に関する研究

2007年度

- ・ヨークベニマルにおける「お客様の声」から考える顧客満足

大学院 修士論文指導 7名(6年間)

修士論文

- 住民満足度を重視する新たなまちづくりコンセプトを考える
- ・芸術団体・文化施設におけるゴーズ・リレイテッド・マーケティング導入について
- ・日本の舞台芸術団体経営に関する研究ー新たなビジネスモデルを求めてー
- コミュニケーションにおけるウチとソトー地域起業の事例からー
- 宮城県志津川地域の経営組織に与える携帯電話の影響
- ・住宅ローン証券化の現状と課題
- 中国国営企業を買収した日系企業A社の人的資源管理

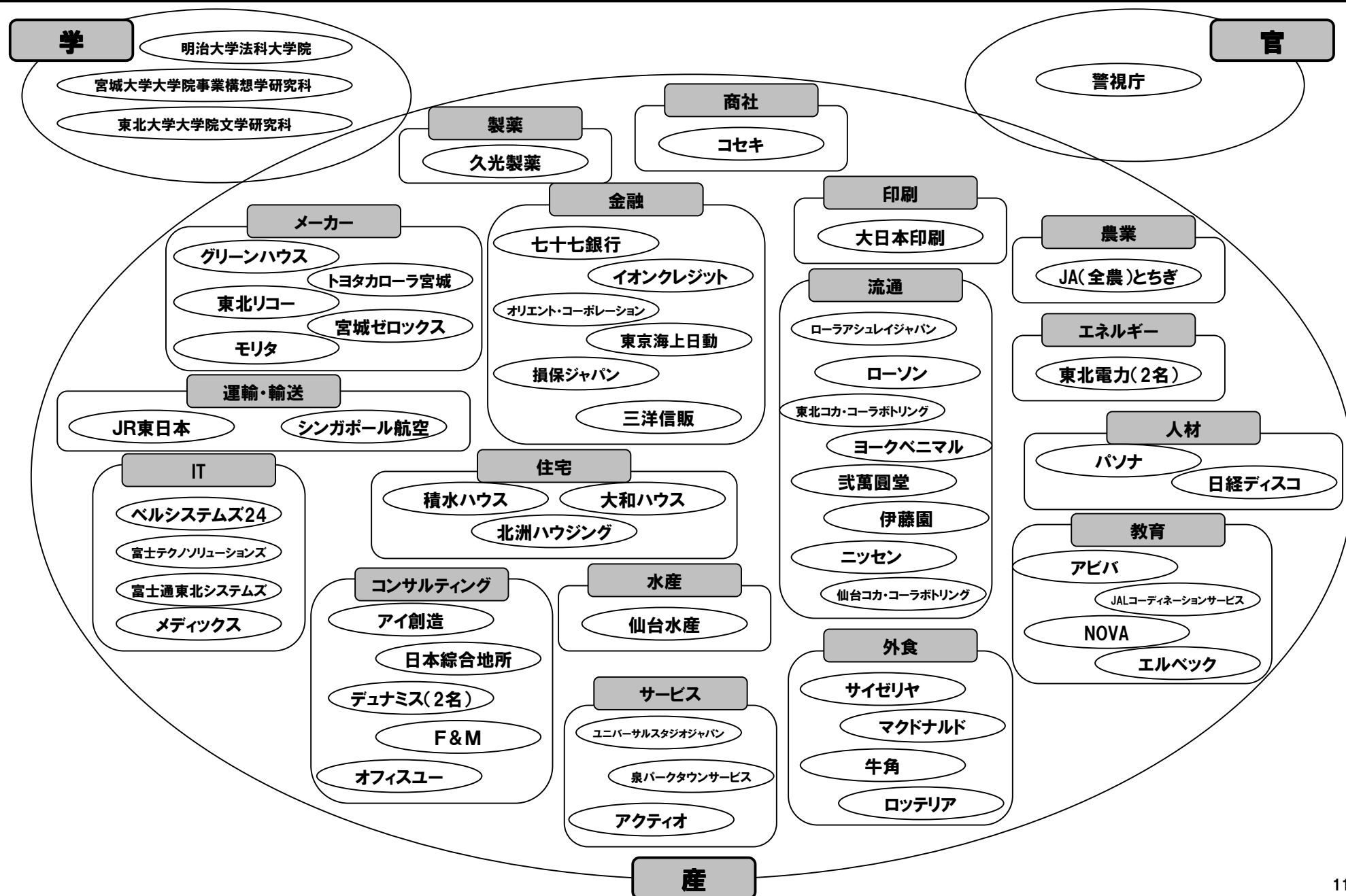


第一期生たちと

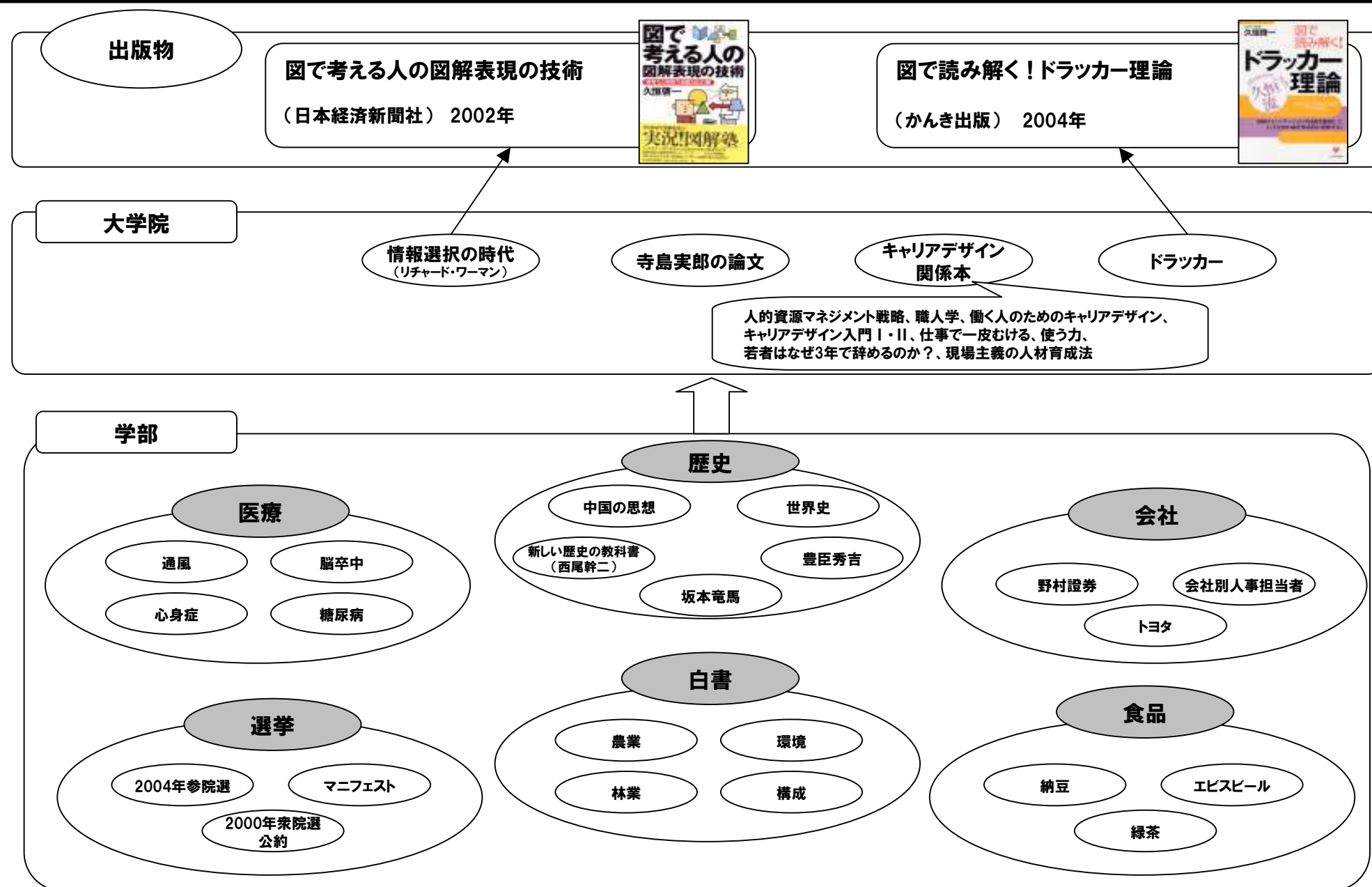


第六期生たちと

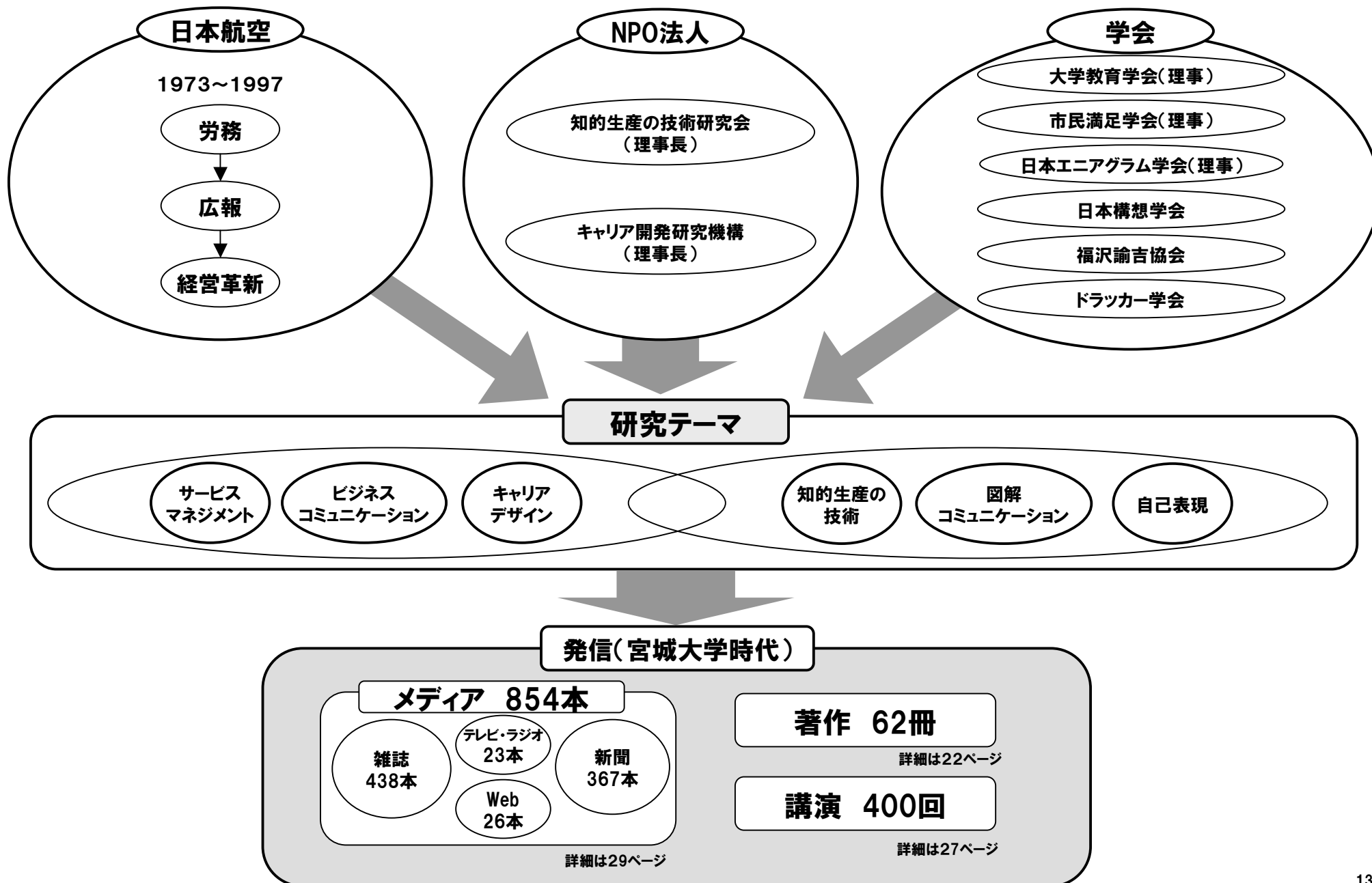
学生と共に成長する教育者⑧ーゼミ卒業生の就職先



学生と共に成長する教育者⑨－図解のテーマと出版への結実



地域と共に歩む研究者①



地域と共に歩む研究者②－著作

宮城大学時代とビジネスマン時代の著作 全76冊

宮城大学時代 62冊 (DVD・ビデオ・ソフト 5本)



ビジネスマン時代 14冊

(ビデオ 1本)



2008年刊行予定

大和書房……仕事術
三笠書房……人物論
……仕事術
PHP研究所……問題解決法
……図解文章法
……人物記念館の旅
ダイヤモンド社……会議の技術
廣済堂出版……仕事術

翻訳出版……韓国、中国、台湾で刊行予定多数

地域と共に歩む研究者③ー著作 ベストセラーランキング

図で考える人は仕事ができる

新聞・雑誌

日本経済新聞 ベストセラー ビジネス 2002年6月3日～9日…9位
 日本経済新聞 ベストセラー ノンフィクション
 2002年6月17日～23日…8位
 朝日新聞be ランキングズ ビジネス書 東京・八重洲ブックセンター
 7月まとめ…8位
 読売新聞 7月30日 トーハン調べ…5位
 サンデー毎日 サンデーらいぶらりい…8位
 仕事の教室 11月号 今月のビジネス書ベスト10
 8月2日～8月8日 日販調べ…5位
 日経BookDirect 日本経済新聞社発行の売行ベスト15
 12月前半 総合…8位
 日経ビジネス 2002年8月5日・22日号 7月のベストセラー …23位

インターネット

bk1 (集計期間:9月8日～9月14日)…11位
 es!Books 6月26日 11時更新 ビジネス書 1位 総合…2位
 bk1 (集計期間:6月17日～6月23日)…1位
 bk1 ビジネス・経済・法律・資格
 (集計期間2002年7月29日～8月4日)…1位

図で読み解く! ドラッカー理論

インターネット

bk1 ビジネス書ランキング(2004年8月9日～8月15日)…11位
 bk1 ビジネス書ランキング(2004年8月16日～8月22日)…3位
 bk1 総合ランキング(2004年8月23日～8月29日)…5位
 bk1 ビジネス書ランキング(2004年8月23日～8月29日)…1位
 bk1 ビジネス書ランキング(2004年8月30日～9月7日)…7位

書店

八重洲ブックセンター2階ベストセラーランキング(2004年8月8日～8月14日)…8位
 ブックストア談(新大阪店)ビジネス書ベスト10(2004年8月15日～8月22日)…9位
 紀伊国屋書店 ビジネス書週刊ベストセラー(2004年8月30日～9月5日)…10位

人生がうまくいく人は図で考える

新聞

日本経済新聞 ベストセラー ビジネス 2003年2月23日～3月1日…7位
 読売新聞 ベストセラービジネス 3月4日トーハン調べ…4位

書店

ブックストア談(新大阪店) 2003年2月23日～2003年3月1日…10位
 旭屋書店(銀座店) 2003年2月20日～2003年2月26日…8位
 文教堂ランキング…3位
 八重洲ブックセンター(2階)…12位

合意術～「深掘り型」問題解決のすすめ～

インターネット

bk1 ビジネス書ランキング(2005年7月26日)…2位
 bk1 ビジネス書ランキング(2005年7月19日)…5位

伝える力

雑誌

サンデー毎日 Book Guide ランキング(2004年4月11日)…10位

インターネット

ブックサービスジャンル別ランキング 実用書(2004年3月4日～10日)…2位

図で考えれば文章がうまくなる

インターネット

bk1 ビジネス書ランキング(2005年10月4日)…2位
 D-webポータル週間ブックランキング 言語・語学(2005年9月22日)…1位

地域と共に歩む研究者④ー講演

講演回数:400回

＜講演テーマの例＞

- ・説得型行政から納得型行政へ
- ・アカウンタビリティと行政
- ・脱ひとりよがり行政



官
115回

文部科学省高等教育局
通商産業省 全国市町村職員中央研修所
防衛庁技術研究本部 人事院 国土交通大学校
中小企業大学校 総務省 最高裁判所 宇都宮地裁
仙台高等裁判所 東京高等裁判所 東北財務局
宮崎県自治学院 秋田県庁 宮城県庁 山形県庁
三重県庁 宮崎県庁 静岡市役所 東北自治研修所
国土交通省東北地方整備局 大崎市役所
全国保健師研修会 高岡市商工会議所

仙台商工会議所

館林市商工会議所

リクルート マイクロソフト 松下電器産業 キヤノン トヨタ自動車 安田火災海上 第一製薬
エーザイ 朝日新聞社 日本経済新聞社 コマツ 日産自動車 山之内製薬 近畿日本ツーリスト
河北新報 東北電力 中部電力 日経ビジネススクール 三菱商事 三菱樹脂 アルプス技研
日本総合研究所 日本洋紙板紙卸商業組合 丸善 鋼材倶楽部 富士ゼロックス JR東日本 ギリー
仙台経済同友会 日本速記協会 宮城工業会 大分経済同友会 慶應丸の内シティキャンパス 日本航空
自費出版ネットワーク 東北公済病院 宮城県栄養士会 インテリジェント町内会 栃木県産業振興センター 日本遊技産業同友会
保健会館健康教育推進本部 日本対がん協会 ツーベアホーム 関西生産性本部 企業法務研究会 七十七銀行
UFJ総研 ネットヨタ仙台 宮城県経営者協会 自分史シンポジウム 宮城県総合衛生学院
昭和医会 NPO法人元気な学校 北國総合研究所 海外
復建技術コンサルタント 上野株式会社 東芝水電設備有限公司(中国・杭州)
日本ユニシス パソナ・キャリアアセット 韓国・知的生産の技術研究会(ソウル)

学
23回

山梨県教育委員会
筑波大学教育センター
東北大学医学部
花巻市校長会
奈良県教育センター
岡山県教育センター
宮城県仙台南山高校

＜講演テーマの例＞

- ・キャリア開発のすすめ
- ・自分らしく生きる
- ・自己表現と図解コミュニケーション



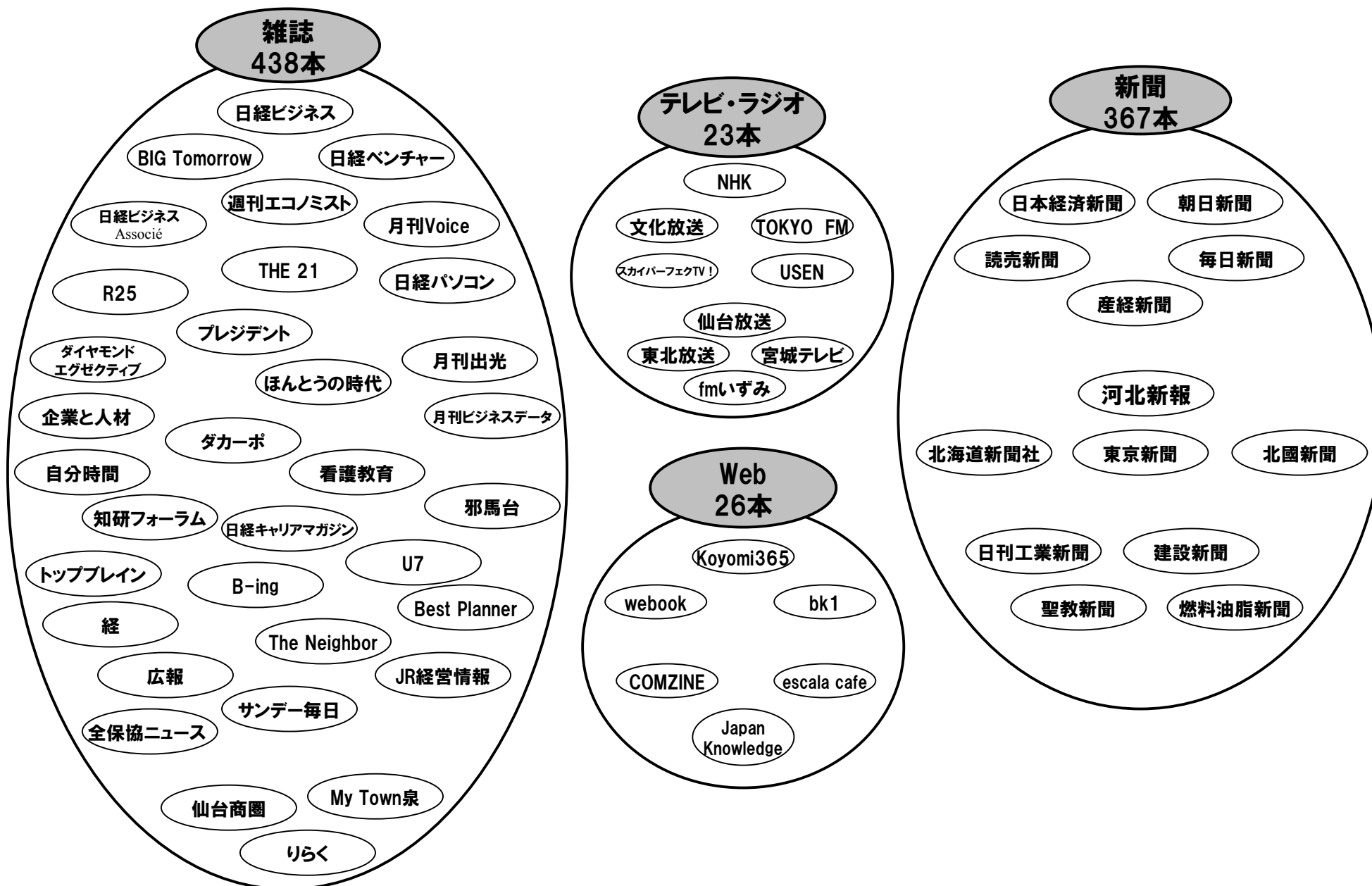
＜講演テーマの例＞

- ・図で考える人は仕事ができる
- ・図解思考法による業務革新
- ・考える社員への道 図解思考のすすめ
- ・「考える社員づくり」のために

産
262回

地域と共に歩む研究者⑤ーメディア

メディアに登場した本数:854本



地域と共に歩む研究者⑥ー新聞・雑誌・Webの連載

連載の数:17本

新聞

地域への提言

河北新報
随想
2002年9月26日～2002年10月25日

河北新報
紙面センサー
2004年10月～2005年3月

雑誌

人物記念館の旅

雑誌「ほんとうの時代」(PHP)
人物記念館を訪ねる旅
2005年10月～2006年12月

「邪馬台」
人物記念館の旅
2006年～

Web「三笠書房」ウィークリーエッセイ
人物記念館の旅
2005年3月1日～2005年8月15日

エッセイ

月刊ビジネスデータ
「ファシリテーションの技術」
2005年12月～2007年12月

雑誌「自分時間」
タイムコンシャスライフのすすめ
2004年11月～2006年3月

NPO法人知的生産の技術研究会
「知研フォーラム」

図解コミュニケーション

雑誌「日経ビジネス」
プレゼンの達人
2001年1月～2002年9月

雑誌「企業と人材」
考える社員を育てるための
「図解思考」入門
2006年4月～2006年8月

月刊「かんごろく」
見せて伝わる！
中味のわかるツール作成のコツ
2001年4月～2001年9月

Colorful
図で考える進路
2007年4月～

月刊「ニューメディア」
図読のすすめ
2001年5月～2002年9月

雑誌「Big Tomorrow」
図解お悩み解決塾
2004年3月～2004年12月

Web「編集学校」
図解コミュニケーション
2006年1月～

雑誌「郵政研究」
図解で磨く 自己表現力
2002年4月～2003年2月

県立大学教授としての地域貢献

参加した行政等の委員会の数: 27委員会

キャリアカウンセラー「伯楽」
養成者 100名

国

ヒートアイランド政策の
合意形成に関する研究会
(国土交通省)

東北地方における広域連携に
よる交流拡大を通じた
地域振興推進調査委員会
(国土庁・東北通産局)

水・道路・都市の環境政策と
合意形成に関する研究会
副座長

産業界から見た大学の人材
育成評価に関する調査研究会
委員(経済産業省委託)

宮城県

行政改革推進委員会委員

大規模事業評価委員会委員

バリアフリー国体
アドバイザー

県民サービス向上委員会委員長
Ⅰ期・Ⅱ期

長期総合計画審議会
専門委員

バーチャル物産館
アドバイザー

行政以外

行政改革進行管理委員会委員
Ⅰ期・Ⅱ期

高度情報化推進協議会
幹事

コミュニティ・ビジネス研究会
委員(東北開発研究センター)

地域ブランド研究会会長
(東北開発研究センター)

(財)ハイウェイ交流センター
サービス向上アドバイザー

仙台コア・ライオンズクラブ
理事

市町村

気仙沼市

行政改革懇話会
副委員長

中央市街地活性化
基本計画策定委員

情報公開審査委員

個人情報保護審査委員

高清水町

21世紀まちづくり委員会
委員長

大和町

行財政評価システム導入
検討委員会委員長

仙台市

オリジナル製品開発助成金
審査委員

大崎市

行政改革推進委員会会長

農業・農村対策審議会
会長

古川地域産業活性化に関する
調査委員会委員長
(東北産業活性化センター)

中小企業指導センター
外部診断指導員

人物記念館の旅①－訪問記念館一覧

訪問記念館数:221館

2004年（9館）

土門拳、斎藤茂吉、結城豊太郎、浜田広介、斎藤實、井上靖、三浦綾子、乃木 希典、坂本龍馬、

2005年（70館）

青木周蔵、松本清張、徳富蘆花、徳富蘇峰、宋慶齡（中国北京）、魯迅（中国北京）、立原道造、竹久夢二、森鷗外（東京）、会津八一、三木武夫、坪内逍遙、サトウハチロー、原敬、石川啄木、渡辺華山、杉原千畝、堀辰雄、有島武郎、野上八重子、内村鑑三、池大雅、室生犀星、朝倉文夫（東京）、古賀政男、向井千秋、田山花袋、星野富弘、石原和三郎、長谷川町子、市川房枝、中村不折、樋口一葉、熊谷守一、葛飾北斎、向田邦子、与謝野晶子、宮尾登美子、志賀直哉、林芙美子、小津安二郎、鳩山一郎、岡本太郎、吉田茂、後藤新平、相田みつを、杉本苑子、澤田政廣、中山晋平、尾崎行雄、佐々木信綱、高野長英、新渡戸稲造、阿部次郎、古関裕而、久米正雄、山縣有朋、野口英世、司馬遼太郎、土井晩翠、白鳥省吾、吉野作造、三浦梅園、重光葵、佐藤義美、広瀬武夫、田能村竹田、滝廉太郎、朝倉文夫（大分）、福沢諭吉

2006年（61館）

長井勝一、浜口陽三、柳 宗悦、武者小路 実篤、鎌田三之助、阿部東庵、白凡金九（韓国）、黒田清輝、樋口一葉、森鷗外（東京）、正岡子規、芹沢銈介、大山康晴、新渡戸稲造・傳・十次郎、田中館愛橘、福田繁雄、羽仁もと子、藤沢周平、亀井南冥・昭陽、広瀬淡窓、双葉山定次、柳田國男、佐々木喜善、萬鉄五郎、ジョー・ブライス、宮城道雄、布施辰治、横山大観、大佛次郎、澤田美喜、池波正太郎、岩崎久弥、ナポレオン、草野心平、岡倉天心、山田かまち、石ノ森章太郎、白洲次郎・正子、渋谷栄一、高村光太郎（岩手）、宮沢賢治、寺山修司、太宰治、高村光太郎（企画展）、魯迅（中国紹興）、宮崎駿、山本有三、宇治山哲平、伊達政宗、坂本龍馬、グラバー、菅原道真、ド・ロ神父、遠藤周作、シーボルト、原阿佐緒、頭山満、北原白秋、大隈重信、佐野常民、棟方志功

2007年（76館）

北大路魯山人、南方熊楠、辻村寿三郎、藤田喬平、乃木希典、高杉晋作（下関）、吉田松陰、伊藤博文、桂太郎、木戸孝允、青木周弼、高杉晋作（萩）、澁澤龍彦（企画展）、山下清、マルク・シャガール、野上弥生子、吉丸一昌、高田屋嘉兵衛、北島三郎、土方歳三、石川啄木、金子鴎亭、川田龍吉、カール・レイモン、柳宗悦（企画展）、河井継之助、山本五十六、中島千波、高井鴻山、葛飾北斎、池田満寿夫、佐久間象山、東山 魁夷、高濱虚子、渥美清、小山敬三、島崎藤村、泉鏡花、五木寛之、徳田秋聲、室生犀星、松井秀喜、村上玄水、阿部次郎、清河八郎、高山樗牛、白瀬のぶ、石川達三、菅江真澄、石坂洋次郎、山下太郎、矢口高雄、安岡正篤、歌川広重、斎藤真一、最上徳内、夏目漱石、小泉八雲、徳富蘇峰・蘆花、横井小楠、島津源蔵、末川博、大河内伝次郎、池大雅、新島襄、平山郁夫、佐藤忠良、最澄、橋本閑雪、河井寛次郎、高村智恵子、扇畑忠雄、豊臣秀吉・加藤清正、森村宜穂、加藤唐九郎、小野道風

2008年（6館）

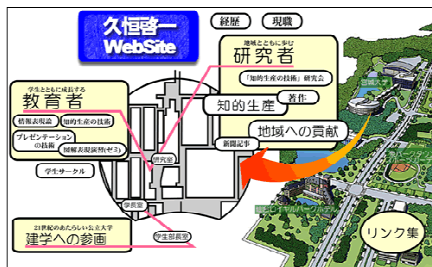
安宅英一（企画展）、大江雲沢、横山大観（企画展）、在原業平（企画展）、水戸斉昭、水戸光圀

ウェブ時代をゆく①

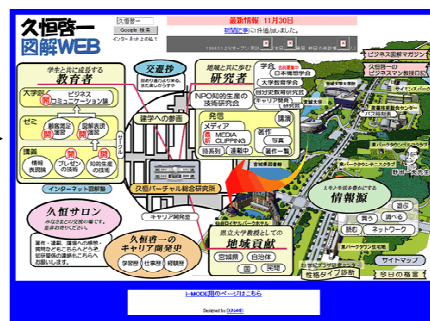
- ・ホームページ 久恒啓一図解Web 1999年2月開設 訪問者数:759,630人(3月5日現在)
- ・メルマガ 久恒啓一のビジネスマン教授日記 2000年5月5日より発行
週1、2回の発行で586号発行 購読者数:8,000人
- ・集めた格言の数 412個

図解Webのあゆみ

1999年～2001年



2001年(サロン開設・格言収集開始)



2002年(右上に著作の情報を追加)



2003年(最新の著作の情報を充実)

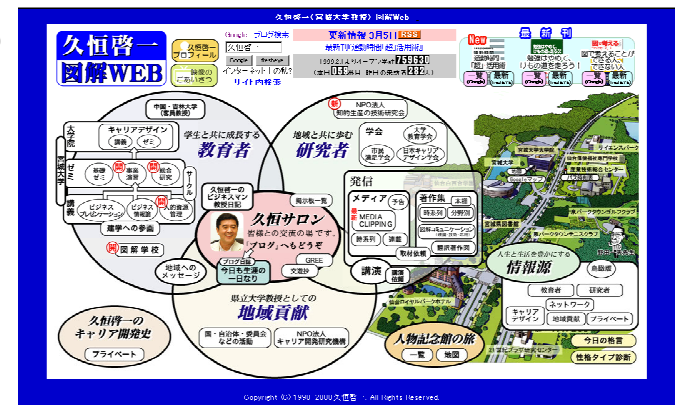
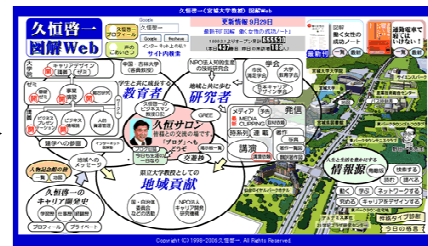


2006年～2007年
(情報を整理)

2004年(顔写真の変更や著作の情報を充実)



2005年～2006年(サロンが真ん中に)



ウェブ時代をゆく②

ブログ「今日も生涯の一日なり」

連続記入記録: 1,280日 (当面の目標: 松井秀喜の連続試合記録(1,768))

訪問者数: 277,000人 (3月5日現在)

ブログ冊子化 3冊

久恒啓一の「今日も生涯の一日なり」〈読書・コミック〉楽楽ブログ

【ケータイで見る】【ログイン】

276398

宮城大学教授 久恒啓一ブログ日記

今日も生涯の一日なり

Home Diary Profile Auction BBS Bookmarks Shopping list

Keyword Search

ウェブ ブログ お買い物

最近の著作

久恒啓一 図解Web

ホームページにもお出でください

テーマ別 時系列 地図 一覧 登録はコチラ

今日も生涯の一日なり [全1275件] RSSリーダーに登録

2008/03/02

「私の伊勢物語」を語る - 在原業平の真の姿 **new**

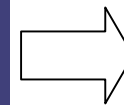
「伊勢物語」の主人公と思われる在原業平の没年は紀元980年で享年は56歳だった。この125段の独立した非漸に短い物語は作者不詳だが、成立は10世紀の初め頃と推定されている。内容は209首の和歌を中心とする物語である。「源氏物語」は今年が千年紀といふから、完成したの1008年である。伊勢物語の100年後あたりだから、紫式部はこの伊勢物語の主人公である在原業平の物語も参考にしたのであろう。

「むかし男ありけり。」で始まる伊勢物語の男、在原業平は色好みと評されている。全編にわたり和歌を通じた男女のやりとりが中心であり、そういう印象が強い。実際、中学・高校時代にこの名前に換したとき「ブレイボーイ」という印象しかなかった記憶がある。しかし、「私の伊勢物語」(久恒啓一著・短歌新聞社)の解説を読みながら古文を読むと、この男の屈折した心も見えてくる。平安初期という藤原家全盛の時代に権力に迎合した父を許せない業平は、自分の信じた生き方を貫き、権力に関わる女性(高子)に近づく。そのため都においてはある時期に13年にわたる出世の異常な停滞を経験している。また京におれなくなった業平は「東下り」(あづまくだり)を行い、その途中や東北でも数々の物語を生んでゆく。

高子とのかなわぬ恋、そしていろいろな女との交渉に目を奪われがちだが、「私の伊勢物語」はその物語のいたるところに権力に抗し、苦しみ、もがく人物の苦悩やその時代背景を垣間見せてくれる。

「伊勢物語」の和歌には知っているものも多い。

名にしおしおまじいざこと問わむみやこどりわが思ふ日人はありやなしやとつゆにゆく道とはかねて聞きしかどきふけふとは思はざりしを(辞世の歌)

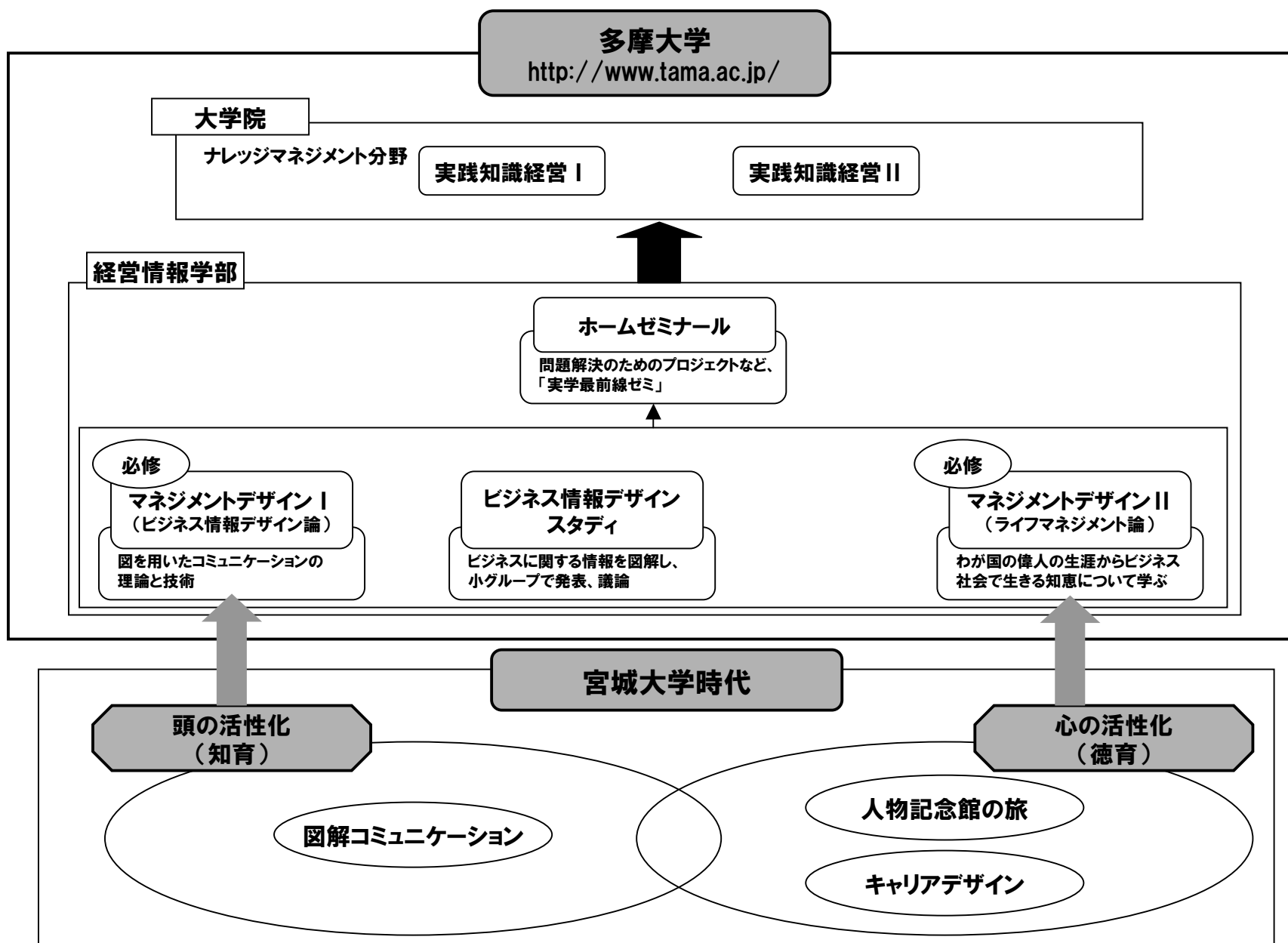


471ページ 513ページ 657ページ



ブログ「今日も生涯の一日なり」

多摩大学での講義



これからの10年

著作

久恒バーチャル総合研究所

文明の生態史観の旅

人物記念館の旅

ウェブ時代をゆく

評伝

私の履歴書

ライフワーク

学会

座右の銘

二都物語



大分県中津市の福沢諭吉記念館
で購入した色紙
私の座右の銘の一つ